

歯周病が全身に与える悪影響

歯周病菌の出す毒素が血流を介して他の臓器（心臓など）に入り、全身疾患を引き起こします。

また歯面についたプラーク（歯垢）はウイルスが付着しやすくなり経口感染しやすくなります。



糖尿病を患っている人は、健康な人より歯周病にかかるリスクが高く、また歯周病による炎症で生じる物質がインスリン（血糖値をコントロールする物質）の機能を低下させて糖尿病を悪化させる場合があります。

また、冠動脈疾患は、歯周病による炎症が動脈硬化を進ませる場合があります、

歯周病菌が心臓に運ばれ細菌性心内膜炎の原因になる場合もあります。

他にも誤嚥性肺炎や早期低体重出産などの病気も歯周病が悪影響を及ぼすと考えられています。

歯周病はお口の病気のみならず、全身の健康を阻害する可能性のある怖い病気です。

歯周病は早期発見・早期治療が健康を取り戻す近道です。

「歯茎が赤く腫れた!」「歯磨きをすると出血する!」などの症状が出ましたら、直ちに歯科医院を受診して下さい。